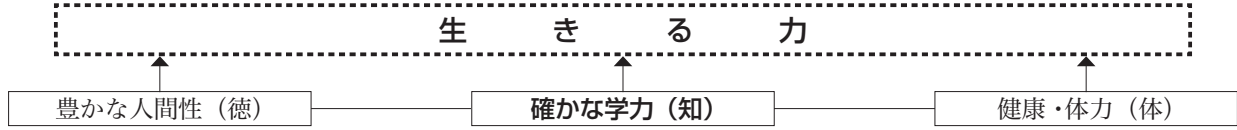


令和3年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

奥尻町教育委員会では、学校の設置管理者としての説明責任を果たし、今後の施策の改善につなげていくことが大切であることから、上記標題の調査（令和3年5月27日実施）について、その結果を公表することとしました。

新しい学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指しています。



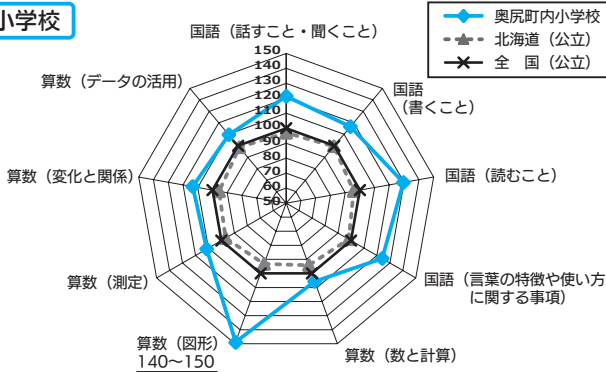
- * 「生きる力」を、「知・徳・体」のバランスのとれた力としてとらえ、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切です。
- * 教育委員会や学校では、今日求められる学力を、知識・技能はもとより、思考力や判断力、表現力、学ぶ意欲などを含めた学力ととらえています。
- * 今回の調査結果は、こうした学力の特定の一部分の結果であることに留意してください。

奥尻町内小中学校の状況及び学力向上策（学校数：小学校2校：12名、中学校1校：11名）

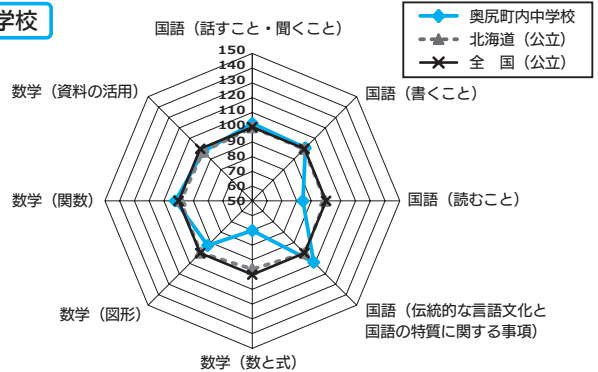
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び奥尻町の状況をレーダーチャートで示したもの（町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

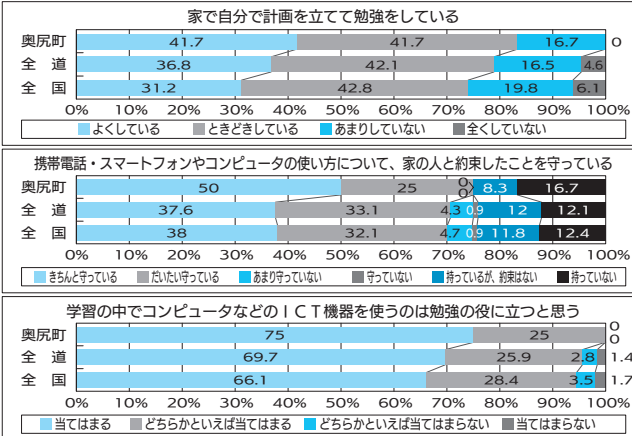
小学校



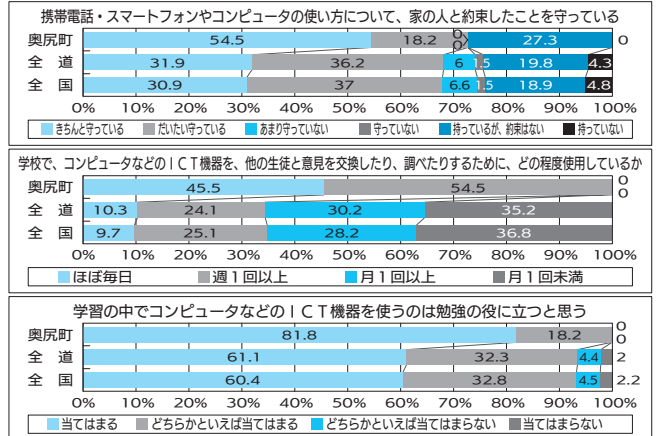
中学校



【児童質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

- 町内の各小学校において、個別最適な学びに向けた授業改善や家庭と連携した児童の主体的な家庭学習の取組を進めたことにより、国語と算数の全領域で全国・全道の平均正答率を上回ったと考えられる。
- 町全体で、家庭と連携した生活習慣の確立に向けた取組を進めたことにより、携帯電話等の使い方について、家の人と約束したことを守っていると肯定的に回答した児童の割合が全国・全道を上回ったと考えられる。
- 町全体でICT端末の効果的な活用による授業改善を図ったことにより、学習の中でICT機器を使うのは勉強に役に立つと思うと肯定的に回答した児童の割合が全国・全道を上回ったと考えられる。

【分析】

- 町内の中学校において、個別最適な学びに向けた授業改善や補充学習の取組を進めたことにより、国語の3つの領域、数学の1つの領域で全国・全道の平均正答率を上回ったと考えられる。
- 町全体で、家庭と連携した生活習慣の確立に向けた取組を進めたことにより、携帯電話等の使い方について、家の人と約束したことを守っていると肯定的に回答した生徒の割合が全国・全道を上回ったと考えられる。
- 町全体でICT端末の効果的な活用による生徒の意見交換や調べ学習の充実を図ったことにより、学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うと肯定的に回答した生徒の割合が全国・全道を上回ったと考えられる。

【奥尻町の学力向上策】

- ◎家庭と連携した学習・生活習慣の一層の確立と主体的な学習態度の育成
- ◎小中連携によるICT機器の効果的な活用に向けた取組の推進
- ◎9年間で育てる児童生徒の姿を共有し、地域全体で学びの支援をする取組の充実

